

“み入り”及び呈味 “み入り”とその経過については9表、図5に示した。

22日間飼育後の6月26日の測定結果は らーめん給餌区が8.3% ($\frac{GW}{BW} \times 100$)、次にかにかま7.6%、モイストペレット7.3%と続き、コンブ給餌区は5.4%と一段と小さい(9表)。

この値を、6月3日飼育開始直前の対照(供試ウニと同じ水域から採集された、以下対照のウニは同様である)と比べると らーめん及びかにかま給餌区は増加し、モイストペレット給餌区は増減がなく、コンブ給餌区と対照区では減少している。

残余のウニについて引続き飼育を行った後期(6月26~7月6日の9日間)の結果は かにかま飼育区が8.0% ($\frac{GW}{BW} \times 100$)と最も大きく、コンブ給餌区が3.8%と最も小さい。モイストペレット給餌区がかにかま給餌区に続き6.3%、らーめんが5.2%の順となっている。

これを6月26日測定の結果と比べると かにかま給餌区と対照のみが増加し、モイストペレット及びらーめん、コンブ給餌区においては いずれも減少している。特にらーめんの減少が大きい。

一方 “み入り”の絶対量は、かにかま給餌区及び対照と同様モイストペレット給餌区においても増加している(9表、図-5)。モイストペレット給餌区においては “み入り”の伸びもあるが、個体の成長がそれ以上であったことによるものである(図-4)。

9表 “み入り”の測定結果

6月26日測定(22日間の飼育)

試験区	個体数	生殖腺重量(g)		生殖腺指数(%)	
		平均値	偏差平方和	平均値	偏差平方和
コンブ	20	6.2	152.0	5.4	84.0
らーめん	17	8.4	52.0	8.3	45.7
かにかま	19	9.1	266.9	7.6	75.8
モイストペレット	19	7.6	121.7	7.3	89.4
対 照	20	5.2	70.5	4.4	44.7

7月6日測定(31日間の飼育)

試験区	個体数	生殖腺重量(g)		生殖腺指数(%)	
		平均値	偏差平方和	平均値	偏差平方和
コンブ	19	4.3	48.85	3.8	26.96
らーめん	18	6.5	49.83	5.3	42.55
かにかま	20	9.7	229.85	8.1	135.94
モイストペレット	20	8.4	137.52	6.3	83.18
対 照	20	6.3	135.33	5.3	100.43

※飼育開始前対照 6月3日

個体数	生殖腺重量(g)		生殖腺指数(%)	
	平均値	偏差平方和	平均値	偏差平方和
14	7.6	98.48	6.8	85.30

生殖腺指数: $\frac{GW}{BW} \times 100$

以上の結果をまとめると“み入り”については、かにかま給餌区が最も良く、次いでモイストペレット、らーめん、コンブの順となる。即ち

かにかま>モイストペレット>らーめん>対照>>コンブ
 の関係があり、コンブ給餌区は“み入りの絶対量及び生殖腺指数 (GW/BW×100)とも、常に低下し、最も悪い結果となった。

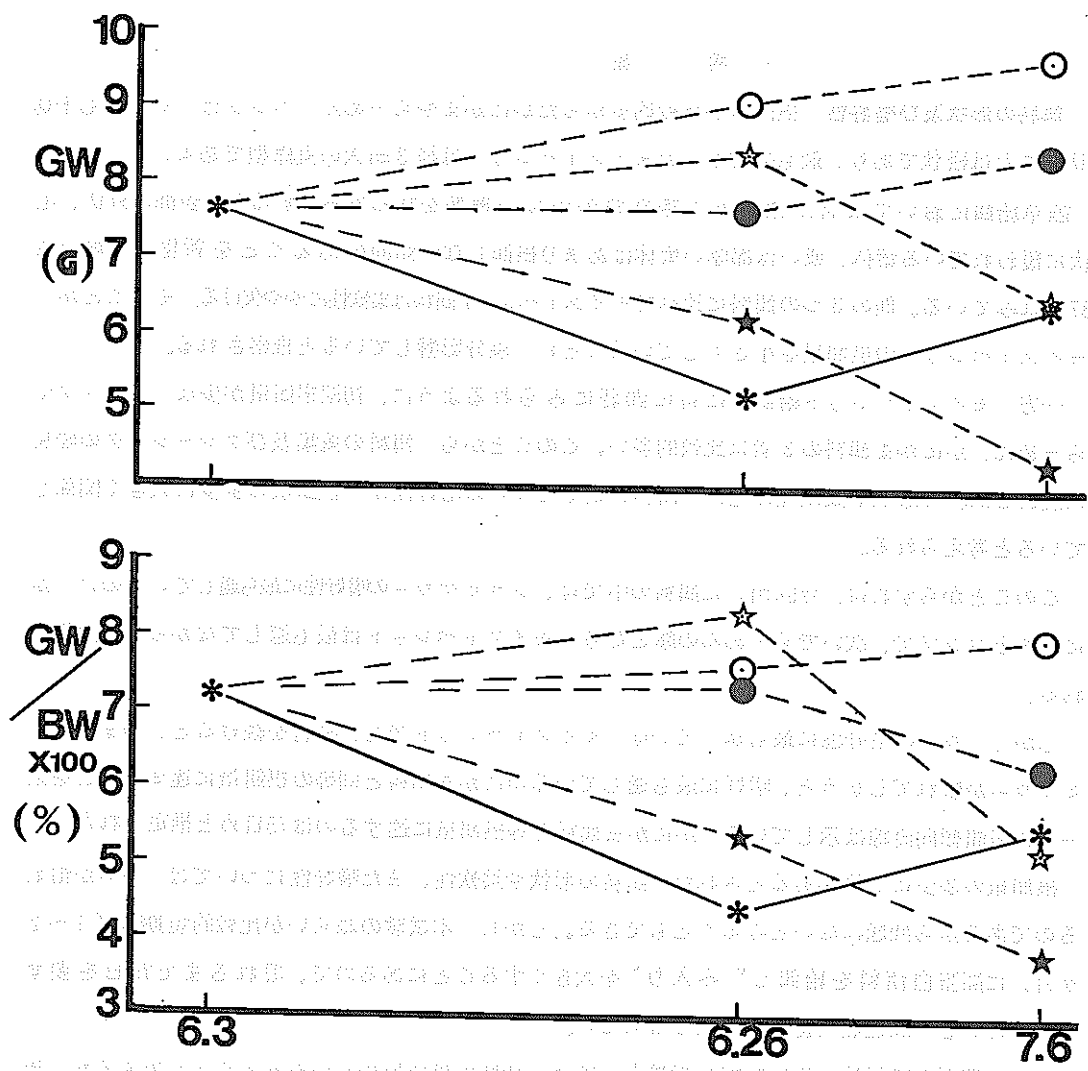
10表 “み入り”の検定

6月26日の“み入り”

試 験 区	生 殖 腺 重 量	生殖腺指数 (%)
コンブ/らーめん	2.2=2.17 (35, 0.01)	3.1>2.3 (35, 0.001)
"/かにかま	2.9>2.62 (37, 0.02)	2.2>1.8 (37, 0.01)
"/モイストペレット	1.4<1.47 (37, 0.10)	1.9=1.88 (37, 0.01)
"/対 照	1.0<1.29 (38, 0.10)	1.0=0.98 (38, 0.10)
らーめん/かにかま	0.7<1.72 (34, 0.10)	0.7<1.07 (34, 0.10)
"/モイストペレット	0.8<1.72 (34, 0.10)	1.0<1.10 (34, 0.10)
"/対 照	3.2>2.22 (35, 0.001)	3.9>1.9 (35, 0.001)
かにかま/モイストペレット	1.5<1.8 (36, 0.10)	0.3<1.2 (36, 0.10)
"/対 照	3.9>3.5 (37, 0.001)	3.2>2.1 (37, 0.001)
モイストペレット/対 照	1.6>1.5 (37, 0.05)	2.9>2.2 (37, 0.001)

7月6日の“み入り”

試 験 区	生 殖 腺 重 量	生殖腺指数 (%)
コンブ/らーめん	2.2>1.99 (35, 0.001)	1.5>1.26 (35, 0.01)
"/かにかま	5.4>3.15 (37, 0.001)	4.3>2.40 (37, 0.001)
"/モイストペレット	4.1>2.57 (37, 0.001)	2.6>1.98 (37, 0.001)
"/対 照	2.0>1.94 (37, 0.01)	1.5=1.45 (37, 0.02)
らーめん/かにかま	3.2>2.46 (36, 0.01)	2.8>2.60 (36, 0.001)
"/モイストペレット	1.9>1.80 (36, 0.02)	1.1<1.23 (36, 0.05)
"/対 照	0.2<1.24 (36, 0.10)	0<1.99 (36, 0.10)
かにかま/モイストペレット	1.3<1.66 (38, 0.10)	1.7>1.54 (38, 0.05)
"/対 照	3.4>2.66 (38, 0.01)	2.8>2.14 (38, 0.01)
モイストペレット/対 照	2.1=2.06 (38, 0.02)	1.1<1.17 (38, 0.10)



図一五 餌料別“み入り”の経過

*; 対 照 O; かにかま ●; モイストペレット
 ☆; らーめん ★; コンブ

呈味については簡単な盲検テストが行われたが、特にかにかま給餌によるものが香ばしく、それ以外は コンブとらーめんによるものの味が落ちるようであった。特にランクづけをすれば下記のとおりであった。

かにかま > 自然ウニ = モイストペレット > コンブ = らーめん

但し“ウニ”は蒸し煮である。